

# 北海道台風被害調査と救援活動に奔走

## 党国会議員団に「2016年8月台風災害対策本部」を設置

党国会議員団葉は8月31日、小池晃書記局長・参院議員を本部長、畠山和也衆院議員を事務局長とする「台風災害対策本部」を設置しました。高橋千鶴子衆院議員と紙智子、岩渕友両参院議員が副本部長です。

党北海道委員会の対策本部長でもある畠山衆院議員は、被害調査と救援活動で連日奔走しています。



高潮で線路と路盤が消失した JR 日高線清島の海岸線を調査する畠山衆議。右端は真壁町議。



新ひだか町役場で本庄康浩副町長と担当職員から地図を前に被害状況を聞く畠山衆議。左手前は谷、川合両町議。

## 台風被害 思い切った支援を防災相に要請



6日、防災担当大臣室で申し入れする(左から)畠山、紙、松本担当相、高橋、岩渕の各議員。畠山氏は河川の氾濫による鉄道や農地の被害実態を報告し、「今までに経験したことのない大きな被害だ」と強調。紙氏は、農産物関連産業にも深刻な影響が出ているとして、「総力をあげた支援をお願いしたい」と述べました。(写真はしんぶん赤旗提供)

9月6日、党国会議員団「台風災害対策本部」は、台風7～12号による災害への緊急対策を松本純防災担当相に申し入れました。高橋千鶴子衆議、紙智子参議、岩渕友参議の各副本部長と畠山和也事務局長が、岩手県や北海道などの被災地の実情を伝え、災害対応への財政支援などを要請しました。台風10号が観測史上初めて東北太平洋側に上陸し、東日本大震災からの復興途上にある岩手県の各自治体、日本の食料基地である北海道に大きな被害をもたらしているとして、政府の思い切った対応を求めました。松本防災担当相は「被災地の皆さんが一刻も早く、安心して生活できるよう全力で取り組んでいきたい」と述べました。